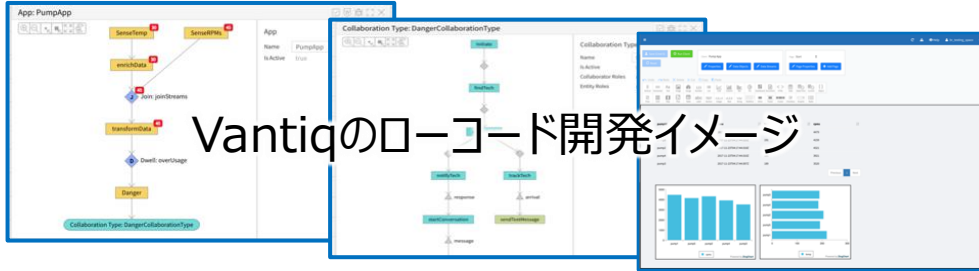


Vantiqの開発環境：ローコード/アジャイル/スピード開発

VantiqはEDA（Event Driven Architecture）を極めた、リアルタイム・アプリケーションの開発・実行プラットフォームです。これまで開発が困難であった複雑なリアルタイム・アプリケーションを、ローコードで短期間に実現しアジャイルに拡張していくことが可能です。

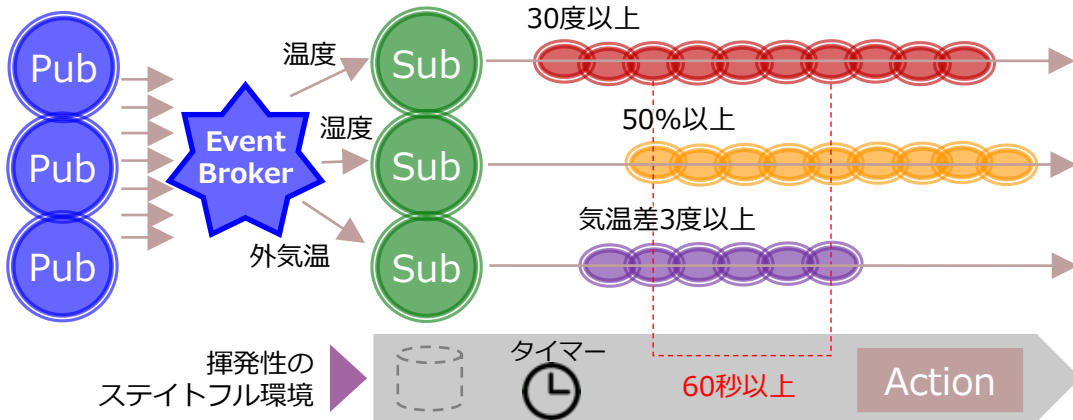


Vantiqのローコード開発イメージ

ローコードでこれらの複雑さを解決

ローコードの目的 ① 同時多発イベントの複合化

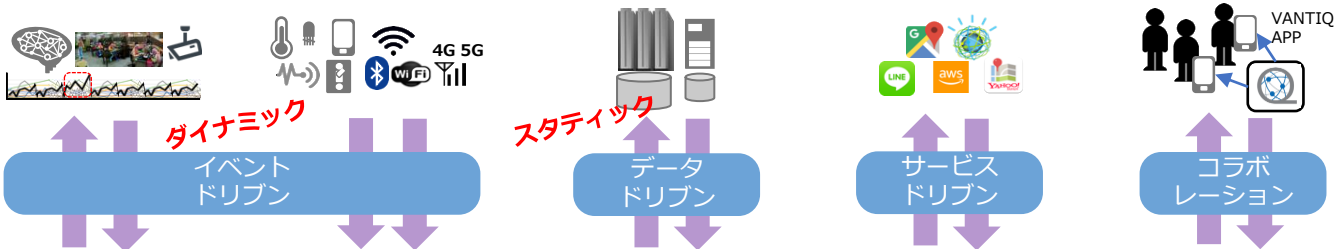
単に開発言語レスを狙ったローコードではなく、IoT時代に求められる複雑なリアルタイム・アプリケーションの特徴である同時多発イベントの複合化を実現します。



例題： 気温30度以上かつ湿度50%以上が60秒以上続いたらエアコンのスイッチをONにする。
更に、外気と室温の差が3度以上だったら...をアジャイルに追加。

ローコードの目的 ② オールインワン

リアルタイム・アプリケーションに必要な4要素（ダイナミックソース、スタティックソース、Webサービス、マンマシンコラボレーション）の複雑なインテグレーションを、オールインワンで実現します。



Vantiq Platform リアルタイムアプリケーション開発・実行プラットフォーム



Vantiq出現の背景

AIやIoTの出現で社会環境は一変。例えばスマートシティを、データベースセントリックなシステムだけで支えることは不可能です。ダイナミックに変化する膨大なセンサーからの情報を、リアルタイムに処理して必要なアクションにつなげなければなりません。

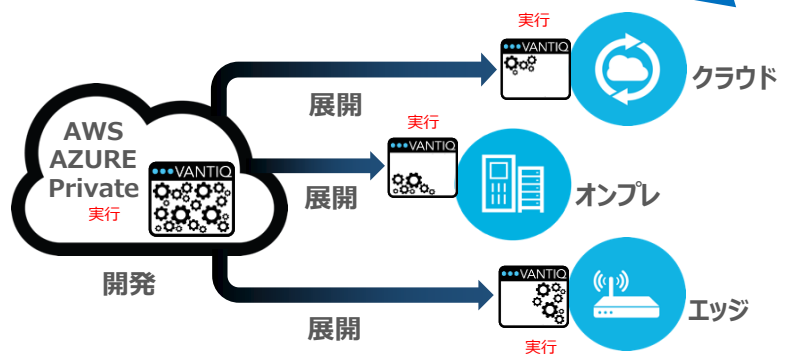


- ＜スマートシティの特徴＞
- データ・ムーブメント (×DBセントリック)
 - ソフトウェア・エブリウェア
 - リアルタイム/ダイナミック

Vantiqインフラの特徴：デプロイ

Vantiqはデータベース・セントリックなシステム基盤とは異なり、クラウドで全体ロジックを作成し、エッジごとに適宜ロジックの一部をデプロイし、そして全体を一つのシステムとして実行できます。

社会に浸透するリアルタイムアプリケーションに適合するプラットフォームです。



米国本社： Vantiq Inc.
1990 N. California Blvd, Suite 400
Walnut Creek, CA 94596

お問い合わせ先：
ミツイワ株式会社 EDAビジネス推進室
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18
渋谷南東急ビル12階
Email: VANTIQ@mitsuiwa.co.jp